

リノベしてステキに暮らす!
いくのdeリノベ

商店街 × シェアハウス 若き3人の挑戦

JR寺田町駅から徒歩10分、生野銀座商店街の中ほどにある、今年3月にオープンしたばかりのシェアハウス「MASH」。3階建ての長屋を購入し、2・3階を住居スペースにリノベーションした。商店街から繋がる1階部分は、今後イベントスペースを作る予定だという。

「MASH」を運営するのは、同じ大学で建築デザインをともに学んできた若き3人。大学院でもシェアハウスの可能性について研究してきたという小谷さん(写真中央)は、幼いころから生野のまちで育ち、この商店街での思い出も多い。

3人が考えたのは、商店街の空き店舗をシェアハウスとして活用すること。シェアハウスの住人同士の交流だけでなく、住人以外のまちの人たちとの交流によって、商店街やまちの活性化のきっかけになるのではないかとこの思いから。

もともとあった壁や天井をめぐり、剥き出しとなった赤錆塗装の鉄骨やコンクリートブロック。それらを生かすように、壁に張ら



▲2階のリビングは住人の憩いの場



▲2階の明るく清潔感あふれるキッチン



▲3階の共有スペース

れた昔ながらのラワン合板。シンプルで直線的なアイアンと木を組み合わせたテーブルやベンチ。間接照明やペンダントライトなど様々な光によって、あたたかで柔らかな空間がデザインされている。ここで暮らす人たちの会話も自然と広がる。壁一面のガラス窓からは、いつも商店街を近く感じるができる。

「シェアハウスを選ぶ人は、留学生や、いろいろな経歴をもった方など、“オモシロイ”人が多い。」と話す小谷さん。今はコロナウイルスの影響で人が集まることがなかなか難しいが、ゆくゆくは1階のイベントスペースを使って、住人とまちの人たちとの交流の仕掛けを作っていけたらと話す。

ありそうでなかった、シェアハウスと商店街の組み合わせ。3人の挑戦は始まったばかりだ。



▲左から、辻さん、小谷さん、山本さん。小谷さんの父親が経営する「有限会社三和工業」で生まれた建築部門“ちいさな建築研究所”に3人は所属している。

★MASH(生野東4-1-40)
☎06-6717-6660
※電話は有限会社三和工業
ちいさな建築研究所に
つながります。



ブログでは写真を追加して
紹介しています。



生野区在住で、古い家屋をリノベーションし、自分らしい暮らしをしている方を紹介してください。

連絡先 区企画総務課 ☎06-6715-9683
〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら
区地域まちづくり課 4階44番 ☎06-6715-9734

もっと知れば もっと好き

60か国以上の方が暮らすまち /

IKUNOX×
グローバル



日本まで
3時間半

盧 彬彬 さん
(ロー ペンペン)

香港(中国)出身。高校を卒業後に日本へ。来日してまもなく2年。シェアハウスに住みながら、日本語学校へ通う毎日。

将来はパティシエになりたい!

製菓の勉強をするために日本に来ました。日本の製菓技術はとても高いんです!将来は日本か香港のどっかでケーキ屋さんを開きたいな。

大阪は香港でも有名!

香港にいるとき、いろいろな人が「大阪の人は親切」って言ってたんです。だから大阪に決めました。実際、ほんとにみんなフレンドリー。ここに住んでよかったなって思います。

「カラオケ」と
「スーパー銭湯」が好き!

カラオケでは「あいみょん」とか、日本で流行ってる歌を歌います!画面の字幕にフリガナが出るから、日本語の勉強にもなるんです。あと、スーパー銭湯が大好きなんです。大きいお風呂は気持ちがいい!サウナも水風呂も全部入って1時間くらい楽しんだら、牛乳飲んで帰ります!



炒飯ならぬ「チャウドン」!
大好きでよく作っているそう

IKUNOX×グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみんな通信 検索



ものづくり企業は地域の誇り /

ピックアップ 生野ものづくり百景

株式会社木村工務店

建築デザインで“快適な空間”を創造する

工務店という名ではあるが、設計から施工まで一貫して携わる。住宅をはじめ、店舗、工場、事務所など、そのフィールドは幅広い。

「木村工務店」の手掛ける建築は、洗練されたデザインと、ふんだんに使用される無垢の木が特徴的だ。木の感触を味わいながら、その空間に身をずっと置いていたくなる。

社長の木村貴一さんは「人間が日々暮らしていくうえで機能的で居心地の良い、そんな建築空間をつくることに軸を置いている」と話す。時に扱いが難しい自然素材。しかし「木造住宅を伝承していきたい」と木へのこだわりはゆるがない。

チームで完成にこぎつく

「お客さんには、設計部の一員になってもらうイメージで打ち合せを重ねるんです。」と木村社長。施工主との対話を重ねながら、30~40もの協力会社とともに、チームで創りあげていく。



▲木村貴一社長



▲リゲッタ生野本店



▲貴一さんと同じく建築士である息子の貴徳さん(右)は、6月号「いくのdeリノベ」で紹介した「リゲッタ生野本店」を担当した。

株式会社木村工務店
(小路東2-20-25)
☎06-6751-4414

“きらりと光る”ものづくり企業を
たくさん紹介しています。

生野区 ものづくり百景 検索

